

TacMed Essentials

Excellent Medicine, Lightning Speed
電光石火こそ最良の事態対処医療
John Wipfler, MD, FACEP
www.tacmed.com



2016年7月9日10日

第4回 TacMed Essentials Basic Course

タックメドエッセンシャルベーシックプロバイダーコース

静岡県御殿場市内

2016年9月24日25日

第5回 TacMed Essentials Basic Course

タックメドエッセンシャルベーシックプロバイダーコース

静岡県御殿場市内

1 TacMed Essentials アジア国際コース概要

コース第1日目

08:30 受付 教材交付 講師紹介

09:00 - 講義1：戦術的医療支援と戦術的医療従事者について

戦術的医療支援の歴史と役割 救急救命士制度 軍事医療 事態対処医療
法執行機関と SWAT (米国警察特殊装備戦術部隊)
SWAT (米国警察特殊装備戦術部隊) の基礎知識 編成および装備

10分間実習：止血帯の使用法 SOFTT-W

10:15 - 講義2：戦術的医療従事者の役割と訓練

SWAT の任務

任務中に差し迫る医学的脅威

SWAT の基本的な2種類の突入方法

医療情報の取得と管理

リハビリテーションと予防医学

10分間実習：圧迫止血用包帯 OLAES モジュラーバンテージ

11:00 - 11:15 - 休憩

11:15 - 12:00 講義3：作戦上における SWAT と戦術的医療従事者の役割

SWAT と戦術的医療従事者の行動と意思疎通要領

規制線による現場区分と戦術的医療従事者の立ち位置と役割

SWAT の基本的な2種類の突入方法

戦術的医療従事者が同行支援する上で身に付けておくべき

一般的な武器と接近戦闘術、自己防衛技術

12:00 - 12:30 - 昼食

12:30 - 14:30 講義4：ホットゾーン (戦闘発生場面) への介入について

Updated June 19, 2016

戦術的医療従事者の装備
戦闘外傷救護における患者へのアプローチ方法
「Call-A-CAB-N-Go-Hot」コールエーキャビンゴーホットについて
内容についてテキスト「事態対処医療」第4章および第11章を参照

14:30 - 14:45 - 休憩

14:45 - 17:00 - 講義5: 講義室から屋内訓練場へ移動 2グループに分かれての実習
グループA 銃砲の取り扱いおよび射撃術
グループB 負傷した容疑者の安定化、安全化、拘束方法
内容についてテキスト「事態対処医療」第5章を参照

17:00 - 17:30 - 体験実習

- a) 暗闇でのシナリオトレーニングにて「音が聞こえない状況」での医療提供の困難さを体験（屋内戦闘の銃撃戦や爆発により、戦闘状況では音が聞こえないことを阿波踊りの太鼓演奏にて体験）
- b) 暗闇でも医療資材を取り扱えるよう準備
- c) 暗闇かつ音が聞こえなくても救護を提供できるよう準備

17:30 - 第1日目の反省会

- a) シナリオトレーニングにおける、戦術面 / 医療面からの評価と討議
- b) 第1日の学習内容の要約
- c) 今後のTacMed Essentials のコース開催と内容について

18:00 コース第1日目終了

コース第2日

08:30 - 09:00 コース第2日目の学習内容の概要と準備

09:00 - 09:45 - 講義6: ショックの管理
救出救助と搬送方法
医療管理下での航空搬送方法
内容についてテキスト「事態対処医療」第15章および第16章を参照

09:45 - 10:30 - 講義7: 出血の制御
気道と呼吸の管理
胸部および腹部外傷
内容についてテキスト「事態対処医療」第12、13、14、15章を参照

10:30 - 10:45 - 休憩

10:45 - 11:30 - 講義8: 事件現場と負傷者の移動
内容についてテキスト「事態対処医療」第26章を参照

11:30 - 12:00 - 昼食

12:00 - 12:45 - 講義9: 弾道学、爆傷、非致死性武器について
内容についてテキスト「事態対処医療」第17章を参照

12:45 - 13:00 - シナリオトレーニングの準備、安全管理の事前説明、保護具等の点検

13:00 - 13:45 - 自己防衛と接近戦闘技術
護身術実習 特にナース等の女性のための格闘技実習
内容についてテキスト「事態対処医療」第8章を参照

13:45 - 15:15 - 遠隔医療評価
野外にて、遠方から負傷者の評価を双眼鏡で用いて行う方法の実習

15:15 - 15:30 休憩

15:30 - 16:30 シナリオトレーニング
実状況に沿った実戦的演習

頂いており、e-ラーニングについても精力的に整備を進めています。受講を希望される皆様が受講前までに習得されたことを新たに活用できるようになる手応えを得られることは確約しますので、是非、挑戦されて下さい。

5 TacMed Essentials アジア国際コース開催の経緯について

2016年3月より安全保障関連法案が施工され、5月に伊勢志摩サミット開催を控えているため、Tactical Medicine ESSENTIALS の内容が、これからの日本国に必要なこと。東アジア諸国が日本国で Tactical Medicine ESSENTIALS を学ぶ要望があることから、この度 Tactical Medicine ESSENTIALS の原著者の Jhon 先生を招聘して、日本国で東アジア国際コースを開催することになりました。

東アジア諸国での国際コースを開催する意図は、治安が良くて医療水準が高く国際的に好印象がある日本国内で Tactical Medicine ESSENTIALS について学ぶ要望があることと、日本国内ではほとんど経験の無い戦闘に関わる医療の現場について、日本人が海外の受講者と共に学ぶことでその実相を知るための一助とするためです。

米国では Tactical Medicine ESSENTIALS の教育内容や教材、施設の特異性から、Tactical Medicine ESSENTIALS は ITLS と教育内容の整合性を保ちながらも独立した会社組織となり、その内容を専門にトレーニングを提供する会社として First Responder Group 社があります。東アジア圏で First Responder Group 社の役割を担うものとして 2015 年 12 月より一般社団法人 TACMEDA 協議会を立ち上げ、Tactical Medicine ESSENTIALS の内容について教育できるよう、教材と施設の整備と指導員の育成を行っています。

TacMed Essentials アジア国際コースの内容と一般社団法人 TACMEDA 協議会の活動は、東アジア諸国に国際標準の Tactical Medicine ESSENTIALS の教育内容について普及するものであり、その日本国内の実際の運用について何ら関与するものではありません。

6 注意事項

コース受講にあたり、その撮影については許可された以外は厳禁とします。これは、Tactical Medicine ESSENTIALS の内容には銃器を用いて人を殺傷するものが含まれており、特に医療従事者の中にはこのことについて好ましく思われたい方もいます。また、理解の範囲を超える教育内容についての漠然とした嫌悪感もあるようです。無用の誤解を受けることで主催者、受講者が不利益を被ることの無いよう、撮影については厳禁とします。また、事前講習会では、受講者が撮影することに集中してしまうことで、教育内容の理解が疎かになりがちであることも露呈しています。必要な写真や動画は提供しますし、記念撮影の機会は設けます。

Tactical Medicine ESSENTIALS の教育内容や、Tactical Medicine ESSENTIALS 合同会社、一般社団法人 TACMEDA 協議会の活動等、関わること全てについて、根拠の無い批判や、誹謗中傷、事実ではない情報の流布についても一切厳禁です。

名誉毀損罪は刑法 230 条に規定される犯罪であり、Tactical Medicine ESSENTIALS 合同会社、一般社団法人 TACMEDA 協議会も経済活動を営む会社組織ですから、信用毀損罪・業務妨害罪は、刑法第二編第三十五章「信用及び業務に対する罪」（第 233 条、234 条、第 234 条の 2）に規定される犯罪となります。一般社団法人 TACMEDA 協議会では米国と日本国に顧問弁護士を有しており、これらの犯罪が発覚したならば直ちに訴訟を起こす体制を整えています。公務員の場合、刑事事件で起訴された場合、裁判期間中は失職します。ここまで厳しい対策を講じているのは、当コースの内容と国際コースを開催する上での国際問題に発展しかねない危険の防止のためですので、皆様には言動について充分にご注意されるようお願い申し上げます。また、これらの「犯罪」に関わる情報を入手された方は、速やかに一般社団法人

Updated June 19, 2016

TACMEDA 協議会への通報をお願い申し上げます。情報を提供された方には、その秘密については厳守しますし、それぞれのご職業の倫理規定の範囲内での優遇を考慮します。

Tactical Medicine ESSENTIALS の教育内容については、以上のように、自分が重要影響事態対処医療に取り組むことについて、またその習得した内容を実際に使用した際に、特に日本国内では必ずしも全ての人に支持されることはありません。また、批判を受けることすらあります。こうしたことに耐えられる強い志を持ち共に学ばれる方には、一般社団法人 TACMEDA 協議会では至れり尽くせりの応援をします。今後、テロや凶悪犯罪による負傷者が発生する頻度が高くなることは、時代的必然であり、これは好むと好まざるとに関わらず、対応しなければなりません。重要影響事態は人が発生させるものですから、「想定外」という言葉は許されないので。また、きちんとした対応をすることこそ、重要影響事態による避けられた外傷死を極小化させるものと当協議会は信じます。

上記注意事項に同意されて共に困難を伴う重要影響事態対処医療に取り組まれる方を一般社団法人 TACMEDA 協議会は歓迎しますし、事前講習会では実際に精神的な強さを獲得されている方も増えつつあります。

強い意志を持たれる皆様のご受講をお待ちしております。

一般社団法人 TACMEDA 協議会 Tactical Medicine ESSENTIALS アジア国際コース開催事務局

※本コース概要は現在開催調整中の内容であり注意事項以外はコース開催直前まで変更することがあります。